

■ 国産野菜シェア奪還プロジェクト■設立シンポジウム ベジマチのご紹介





■ 国産の加工・業務用野菜をとりまく背景

高齢化、核家族化、女性の社会 進出で進展してきた調理の簡便 化、食の多様化、外部化など

> 野菜流通における 卸売市場経由率の 低下

> > 加工・業務用向 け野菜における 輸入比率の上昇

若手生産者や新興産地に おける機械化一貫体系の 導入による省力化

> 農業生産者数の 急激な減少

気象変動 地球温暖化

為替変動



■ 国産やさいマッチングフェアの実施 平成18年からalic単独開催~これまでに計31回実施~







<令和2年の第32回パンフレット>

【特色】

- ・国産野菜生産者と実需者との商談や情報交換の場
- ・生産者に加え、種苗会社も多数出展
 - →生産者、実需者、双方にとって新規開拓の場
- ・対面式で現物を見ながら生産者と来場者が交流を図る
 - ➡信頼関係の構築、潜在顧客の発掘



【令和2年 第32回からオンラインによるマッチングサイトを開設】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
 - ➡対面による開催からオンラインへ
- ・場所、時間にとらわれず、全国規模で通年の商談が可能になった
- ・生産者と実需者の登録も随時可能
- ・対面式の交流会の再開も検討中

対面・オンライン両方の商談を可能とし マッチングの機会を拡大



■ ベジマチの概要



登録者数 884者

生産者:535者

実需者: 3 4 9 者

(令和6年4月現在)

実需者を探す

希望する野菜から全国の 実需者を探すことができ ます。



欲しい野菜の検索

野菜の種類や産地から、 欲しい野菜を検索するこ とができます。



掲示板を使った情報発信

旬の商品情報などを発信 することができます。



掲示板を使った情報発信

商品に関する要望などを 発信することができま す。



メッセージ機能による個別商談

実需者と直接やりとりす ることができます。



メッセージ機能による個別商談

生産者と直接やりとりす ることができます。





■ ベジマチの検索画面





登録者数 884者

生産者:535者

実需者: 3 4 9 者

(令和6年4月現在)



合計

349



■ ベジマチにおける商談成立事例

令和5年9月 かんしょ(さつまいも) 四国地方の生産者の事例

- ○物流コスト上昇等の影響
 - ➡輸送距離が短い、近隣エリアで新規開拓を希望
- ○中国地方の実需者(ミールキット製造・販売)に打診
 - →かんしょ(さつまいも)を利用した商品の販売を検討していた
- ○生産者Aからかんしょ(さつまいも)の仕入れを開始
 - →以降、継続的に取引が成立

令和6年1月 トマト 関東地方の実需者の事例

- ○高温・干ばつの影響
 - →既存の契約産地からトマトの入手ができず。 卸売市場からも調達が難しかった。
- ○ベジマチでトマト生産者を検索
 - →中部地方の生産者に打診
- ○高温や干ばつの影響を受けていなかったため希望数量を確保
 - →以降、取引を継続している





